

## 第2回三田市教育委員会点検・評価委員会 会議録

- 日 時：令和7年8月5日（火）9：30～11：05
- 場 所：三田市役所本庁舎 302 会議室
- 出 席：西村委員、齊藤委員、（欠席：下中委員）
- 事務局：山本学校教育部長、井上学校教育部次長、  
久保学校教育部次長（教育総務課担当課長）、  
井上教育総務課長、上野学校再編課長、西浦学校教育課長、  
藤田地域クラブ推進課長、市原教育支援課長、出藏教育研修所長、  
宮城学校給食課長、畑文化スポーツ課長、藤田子ども育成課長、  
神影幼児教育振興課長、齊藤教育総務課副課長、上仲教育総務課事務職員

### 1 開会

- ・会議の成立（過半数の出席があり会議が成立）

### 2 会議の公開及び傍聴

- ・公開
- ・傍聴人なし

### 3 委員長あいさつ

### 4 確認事項

- (1) 議事録の確認

### 5 議事

- (1) 点検・評価委員の意見に関する説明及び質疑応答
- (2) まとめ

### 6 閉会あいさつ（学校教育部長）

### 7 閉会

**【第1回教育委員会点検・評価委員会議事録の確認】**

委員 ・ 9 ページの「放課後児童クラブの生徒が」の記載について、正しくは「放課後児童クラブの児童が」です。修正をお願いします。

委員長 ・ 広く「子どもが」としてはいかがでしょうか。

委員 ・ そうですね。

事務局 ・ 「子どもが」に修正いたします。

委員長 ・ 他にご意見が無いようですので、事務局は修正1点の対応をお願いします。

**【点検・評価委員の意見に関する説明及び質疑応答】**

事務局 (資料に基づき説明)

委員長 ・ ご説明ありがとうございました。お時間がまだありますので、「委員の意見」の項目ひとつずつについて、補足説明等あれば伺いたいと思います。【(1)令和6年度三田市教育委員会の活動状況について】のうち、何か修正や補足説明等ありますか。

委員 ・ 意見に書いたように、教育委員会の学校への積極的な支援が求められていると感じます。助言・評価だけでなく、実際に学校に足を運び、学校と市教委が早期に連携できる体制の整備をお願いしたいです。

委員長 ・ 私は修正等ございませんので、委員のご意見を追記していただければと思います。

・【(2)『さんだっ子かがやき教育プラン』令和6年度施策事業の取組について】の【①「確かな学力」の育成】について、何か修正や補足説明等ありますか。

委員 ・ 特にございませぬ。

委員長 ・ 私も特にございませぬ

・【②「豊かな心」の育成】について、何か修正や補足説明等ありますか。

委員 ・ 特にございませぬ。

委員長 ・ 私も特にございませぬ

委員

- ・【③「健やかな体」の育成】について、何か修正や補足説明等ありますか。
- ・特にございません。

委員長

- ・私も特にございません

委員

- ・【④一人一人が大切にされる教育の充実】について、何か修正や補足説明等ありますか。
- ・意見に記載したように、不登校児童への支援が充実してきていることについて、大変ありがたいです。しかし、担当者（養護教諭・担当教諭）の負担過重が懸念されます。特に養護教諭の先生が担当者になった場合に、一人で抱え込んでしまい、他の先生へ相談しにくい場合があるのではないかと思います。業務範囲を超える場合は、専門機関と早期に連携できるような体制を整えていただきたいです。

委員長

- ・養護教諭は一人配置というのが一般的ですので、確かに一人で抱えこんでしまう場合があるかと思います。校内体制の整備や教育委員会が困りごとを汲み取り、専門機関と連携するための工夫をしていただきたいという要望かと思っておりますので、文言の追加をお願いします。
- ・私の意見の部分について修正は不要です。講演会の際に、特別支援教育関連の講師から、三田市の特別支援教育はかなり前向きに進められているというご意見をいただきます。しかし、通常の学級での支援、生徒指導、いじめ、不登校など幅広く支援ができる方をもっと活用できないかというご意見もいただきます。支援が必要な子どもへの早期対応のために、アンテナを高く持つ必要があります。特別支援教育関連だけでなく、様々な研修や講演会を行う際に工夫をして伝えていただきたいと思っております。

委員

- ・【⑤社会的自立に向けた教育の推進】について、何か修正や補足説明等ありますか。
- ・トライやる・ウィークやわくわくオーケストラなど、兵庫県独自の体験教育が継続されていることが保護者としてありがたいです。また英語の暗唱大会からスピーチ大会に変わるとのことで、教育研修所の負担増となる懸念もあり、市や民間団体などに協力を求め、誰にとっても充実した大会になることを期待しています。

- 委員長 ・体験教育というのは、予算が削られやすいものだと思います。委員の意見について、体験教育の継続を「強く望む」としてはいかがでしょうか。
- 委員 ・ぜひお願いします。
- 委員長 ・「委員の意見」に書かせていただいたとおりですが、子どもたちが「将来の夢・目標」＝《将来の職業選択・高校進路獲得》だけのように捉えていないかという懸念があります。子どもたちの「将来の夢・目標」が、子どもたちを取り巻く大人により刷り込まれた捉えになっている可能性がないか検証し、夢や目標を大切にしたい自分や周囲とのつながり、社会を描きながら育つ三田の子どもたちであってほしいと願います。そのためにも学校で指導や支援にあたる教職員の意識改革や研修研鑽、保護者への働きかけなど、キャリア教育の本来の意義を考える機会の更なる創出に期待したいと思いません。
- 委員 ・【⑥幼児期の教育の充実】について、何か修正や補足説明等ありますか。
- 委員長 ・特にございません。
- 委員 ・私も特にございません
- 委員 ・【⑦信頼される学校づくりの推進】について、何か修正や補足説明等ありますか。
- 委員長 ・「委員の意見」に記載したとおりですが、ICT 支援員の増員について、ありがたく思います。また、現在は一般ウェブサイトから授業案が集約されています。三田市教育委員会には、一般ウェブサイトにはない「三田市について学ぶ教材・情報（指導案）」が集約されることを期待しています。
- 事務局 ・ICT の活用は必要ですが、子どもにとって書く力の育成も必要だといわれています。書く力の必要性について留意しつつ、ICT 支援員の配置等、今後進めてほしいと思いません。
- 事務局 ・また、留守番電話（自動応答メッセージ型）を各校に設置されたことは教職員の働き方改革に直結していると思いません。留守番電話を設置したことに対して、何か反響はありましたか。
- 事務局 ・保護者の方々も慣れてきたのか、留守番電話の設置に対して大きなトラブルやご意見は現時点では特にありません。順調に運用されていると認識して

います。

委員 ・関連して、各学校へ携帯電話が配布されているかと思いますが、こういった目的でしょうか。

事務局 ・学校から、校外学習やプールで緊急の連絡ができないため、導入を検討してほしいという要望がありました。導入により校外学習時等の連絡が可能になったことに加え、各校に複数台導入し、活用することで通話料が大きく下がるというメリットや、携帯電話で話しながら手元に必要な資料を取りに行くことができるというメリットもあります。

委員 ・報告書に記載がありませんでしたが、学校現場で活用されているところを見ましたのでお話をさせていただきました。校外学習でのトラブル対応や水泳授業で学校外に出る際の安心感につながると思います。

委員長 ・配布は各校1台ですか。

事務局 ・学校の規模に応じて、小規模校でも5台程度配布しております。

委員長 ・緊急時に個人の携帯電話から連絡をするというのは気になることもあるかと思いますが、携帯電話の配布は良い取組だと思います。

・【⑧地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり】について、何か修正や補足説明等ありますか。

委員 ・アフターコロナで、トライやる・ウィーク受け入れ事業所を新たに確保している取組がありがたいです。子どもたちのキャリア教育にとって大切なものであると思うので、地域の理解・協力を得て継続していただきたい。

・トライやる・ウィークに特別支援学級の生徒が参加する場合、ボランティアを配置していると思います。以前は一日配置でかなりハードな環境でしたが、現在は半日交代で配置されていると聞きます。中学校のトライやる・ウィークにおいて、中学校区にはボランティアコーディネーターがあまりいないので学校からの募集になると思いますが、ボランティアは足りているのでしょうか。

事務局 ・中学校区においてはご指摘のとおり、ボランティアコーディネーターがなかなか配置できていないところではあります。トライやる・ウィークについては社会福祉協議会と連携し、ボランティアを配置しています。

- 委員
- ・ボランティアに協力をしていただくには、担当の先生との連携が必ず必要であり、これができていないとトラブルのもとになります。社会福祉協議会と連携できているというお話を聞くことができよかったです。
  - ・意見にも記載しましたが、三田市は学校支援ボランティアの配置ができ、ボランティアは授業のサポートもします。しかし、毎年春に教職員とボランティアの間でのトラブルが顕在化します。ボランティアの活動は「学校のニーズ」に応じるため、学校が、明確なニーズ・具体的な活動内容を提示することで、安心安全の確保、学習の充実度を上げることが可能となると思います。異動してきたばかりの先生も学校支援ボランティアを活用できるよう情報共有をしていただければと思います。
- 委員長
- ・今のご意見を踏まえ、ボランティアの種類がわかりやすいよう、「委員の意見」該当部分の「ボランティア」を「学校支援ボランティア」と表記してはどうかと思います。
- 委員
- ・それがいいですね。
- 委員長
- ・【⑨子どもと大人の「学び」が循環する関係づくり】について、何か修正や補足説明等ありますか。
- 委員
- ・特にございません。
- 委員長
- ・「三田市子どもの読書活動推進計画（第4次）」の周知と活用の工夫、その計画に盛り込まれた学校園と公共施設との連携などが着実に進められていることに感謝したいです。今後も取組を拡大していただきたいと思います。
  - ・学校司書と図書館司書の連携、学校司書と教職員の連携を強化し、活用できるよう取り組んでいただきたいです。また、郷の音ホールという立派な施設があるので、小学校との連携などで、有効活用できればと思います。
  - ・【⑩学びを支える環境の整備】について、何か修正や補足説明等ありますか。
- 委員
- ・給食室の環境確認の要望を記載しているところに関して、学校給食の受け入れスタッフが夏は暑く、冬は寒い環境で働いていると聞きます。給食センターの労働環境が良くなる中、給食室の環境も確認し、改善しているのでしょうか。

事務局	・委員のおっしゃるとおり給食センターについては、酷暑対策を講じているところですが、給食室については、スポットクーラーなどで対応している学校もありますが、対応できていない学校もあると聞きます。現在、給食室の環境について調査中です。
委員	・ありがとうございます。子どもたちだけでなく、子どもたちの安全を守る立場にある方々の安全も気にかけていただければ幸いです。
委員長	・こども110番の家について、第1回点検評価委員会で申しあげたとおり、周期的な確認が必要ではないかと思うのですが、その後打合せ等されたのでしょうか。
事務局	・おっしゃるとおり、こども110番の家については定期的な点検が必要であると確認をしています。点検の方法・時期に関して、毎年行うのは負担が大きいので、3～4年ごとに実施したいと考えています。前回の点検が令和4年度ですので、近いうちに実施について検討したいと考えています。
委員長	・ありがとうございます。
委員	・主な取組99の防犯カメラ整備事業について、昨年の報告書では「整備済（208台）」となっていました。今年度の報告書素案では台数の表記がなくなっています。これは何か意図があつたのでしょうか。
事務局	・防犯カメラについては、危機管理課が担当ですので、確認して後日回答いたします。（後日、令和6年度時点で215台に増設されたこと回答済）
委員	・よろしくお願ひいたします。同じく主な取組99の通学路の安全確保について、保護者や近隣住民から直接学校に問い合わせが入ることによる教職員の負担が懸念されます。三田市には、道路・公園の不具合通報システムが設けられているため、市民・教職員への周知をお願いしたいです。
委員長	・そのほかよろしいですか。  ・PTCAについては、今年度も昨年度も取り上げておられます。PTAからPTCAの移行に関して、教育委員会として何かありましたらお聞かせいただけますでしょうか。
事務局	・委員の意見の中に「PTAへの加入が任意となり」という記載がありますが、PTAは元より任意団体であり、加入についても任意です。しかし、PTA加入

についての問題が顕在化したということもあり、教育委員会からも、PTA のあり方を各学校および PTA へ周知し、加入の有無についての確認をするようになったという経緯です。差し支えなければ、PTA への加入は以前から任意であるという旨を追記していただければと思います。

・PTA 連絡協議会を教育委員会で行っています。以前は PTA 連合会所属の団体のみで会をしていましたが、現在はすべての PTA に呼びかけ、情報交換会をし、積極的な議論の中情報交換を行っています。

委員長

・それでは委員の意見について、「PTA への加入は任意ではあるが、ここ数年加入に関しての問題が顕在化している。円滑な活動のためには、今までの活動とは変化させなければならない。」といった文言で記載してはどうかと思います。よろしくお願いいたします。

・私からはあと 2 点あります。1 点目は報告書（案）9～11 ページの指標についてです。ここ数年、「実施なし」とされている項目があります。全国学力・学習状況調査において質問紙の設問項目がなくなっていることも含めてですが、第 3 期三田市教育振興基本計画の最終年度である令和 8 年度までには、教育振興基本計画の達成度を確認するためにも、「実施なし」とするのではなく、何らかの形で報告する必要があるのではないのでしょうか。

事務局

・現在、第 4 期三田市教育振興基本計画の策定に着手しており、その中で、第 3 期計画の指標についても検証を行う予定です。指標として「実施なし」の報告が続いている項目については、考えていく必要があると思います。

委員長

・ありがとうございます。ぜひ対応をよろしくお願いいたします。

・もう 1 点は、いじめ・不登校についてです。相談窓口やゲートキーパーを含め様々な施策をあげておられ、数値が報告されているものもあります。三田市の現状をお聞かせいただけますでしょうか。

事務局

・いじめの問題については、学校が未然防止、初期対応のための早期発見、細かい事案であってもいじめとして対応するよう、いじめ見逃しゼロを徹底しています。令和 6 年度については、いじめの認知件数が上がりましたので、学校として初期段階から対応できていると認識しています。また、全ての学校へ指導主事を派遣し、いじめ対応の研修を必須として行いました。「実際に話を聞くことでよくわかった。」「学校の体制の見直しが必要だと思った。」というご意見をいただきましたので、一定の効果があったと考えています。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の問題について、数値的には高止まりですが、新規の不登校児童生徒数が令和5年度より減少しています。先ほど担当者の負担についてのご意見がありました。校内サポートルームへ子どものサポーターの配置をしていますので、担当者の過度な負担にならない、かつ、子どもたちのニーズに合った支援ができていると考えています。あすなろ教室への通所生も減少しており、校内サポートルームの充実により、不登校の未然防止につながっていると考えています。今後も子どものサポーター全校配置に向けてさらに充実していきたいと思ひます。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の先生は本当に手一杯で仕事をしていることを実感します。しかし、目の前の子どものニーズや取り巻く環境の整備に早期に気づき、対応が必要だと思ひますので、教職員への意識づけに向けた工夫をお願いしたいと思ひます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのほか何かありますでしょうか。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課の連携についてです。学校再編について、いくつかの地域の方からお話を聞く機会がありました。その中で、学校再編に反対したいわけではなく、地震災害だけでなく風水害時にも避難所として開設する小学校がなくなってしまうことに不安感があるとのことでした。高齢化が進み、地域の子供が少なくなる中、学校再編で子どもたちにとって充実した環境になるのではないかという思ひと、地域の避難所がなくなる不安感で板挟みになっているのではないかと思ひます。「学校の統廃合がされたとしても、学校跡地や近くの公民館等で避難所が開設されるのであれば災害への不安がなくなるのに。」という意見もありました。これは教育委員会だけで解消できる問題ではないと思ひるので、市長部局とも連携して、地域の方の不安感の解消に取り組んでいただきたいと思ひます。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会としては、子どもたちの教育の視点で考えていただきたいと説明会等でも伝えてるところです。しかし、委員がおっしゃるように学校跡地の活用や、避難所の不安、自治会活動やスポーツ活動で継続して学校を使いたいというようなご要望も聞いています。教育委員会としては、現時点で具体的なことが言えず、統廃合が決定し、学校跡地になることが決定してからその活用等の方向性を検討するという説明をしているところです。それが避難所の不安の解消ができない、地域の方の理解を得られない要因の一つであると思ひます。これまで教育委員会で、地域住民への説明や意見交換を実施していますが、市長部局とも連携しながら進められればと思ひます。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よろしくお願ひいたします。</li> </ul>

委員長

・そのほかよろしいですか。

委員

・はい。

委員長

・それでは、何点か加筆修正等がありましたので、事務局は対応をお願いします。

<閉会>